

第9回 法政大学キャンパス・エコロジー・フォーラム（第28号）

法政大学キャンパス・エコロジー・フォーラム(以後キャンエコ)は、現在 123 名のメンバーで構成されている、法政大学市谷キャンパスに 1999 年に発足した環境系サークルです。メンバーは人間環境学部の学生が中心ですが、学生のほかに社会人学生や教職員のメンバーもいます。人数が多いため、皆で一つのことをやるというよりは、それぞれが興味を持った活動に自由に参加するというシステムでサークルは動いています。

それぞれの活動は「班」で分け独立して実施しています。活動の内容は、主に学内での活動と学外での活動に分かれています。学内での活動としては、法政大学祭の「エコトレー」の普及活動を行う『エコトレー班』、「強化ダンボール製屋台」の導入・普及を行う『ユニパルパレット班』、ごみの分別・指導を通し法政祭での廃棄物問題を考え、来場客や出店者に環境を意識してもらおうと取り組んでいる『ごみ班』。「キャンパスにもっと緑を!」ということで始まった、法政大学校舎屋上の屋上緑化及び維持管理を行う『緑化班』。使わなくなった教科書や辞書などの廃棄本を少なくしようとする『教科書リサイクル市班』。大学内にエコを広める『環境イベント班』などが挙げられます。

学外では、茨城県土浦市にある穴塚という里山で、現地の NPO の方々の手伝いをしながら野良仕事をする『里山保全班』。千葉県鴨川市の大山千枚田で棚田オーナー制度に参加し、稲作を行いながら棚田の保全を考える『棚田保全班』。私生活でのそれぞれができるエコを考える『エコライフ班』。多くの人にショーを通じて楽しく環境問題を伝える『エコレンジャー班』、などがあります。その他にも、大学機関と協力して定期的に大学の周辺の「ごみ拾い」を行ったり、夏には「打ち水」を行うなどの活動をしており、キャンエコの活動は幅広く多岐にわたっています。

活動は、月に 1 回から毎週 1 回まで規模や回数はまちまちですが、それぞれの班が目標を立て、目標に向かって日々活動をしています。メンバーはいくつの班に所属してもよく、一つだけの班に属し集中的にそのことのみをやる人もいれば、たくさんのことに興味を持ち多くの班に属して学際的に取り組んでいる人もいます。

キャンエコは、上下の壁がよい意味で無く、他学年の人たちとも気軽に交流できるところが最大の魅力だと思います。

(代表 名取正晃)